

学校の概要

児童数 554 名で通常学級 18、特別支援学級 3 学級、教職員数 46 名、世帯数 412 世帯の中規模校である。

校区は、廿日市市沿岸部のほぼ中央に位置し、北には極楽寺山や野貝原山があり、校区を囲むようになだらかな丘陵が海へ向かってのびている。校区の中央を南北に流れる可愛川に沿って、田園地帯が広がり、米や野菜・苗木づくりなどが行われている。中でも、ビニールハウスで栽培される平良イチゴは、味もよく有名である。

校区の東西を西広島バイパス・山陽自動車道・国道 2 号線などの幹線道路が横切っている。近年、宅地化が進み、山側の陽光台団地の造成により、児童数が増加したが、今は横ばいである。

本校の歴史は、明治 6 年に遡り、141 年に及ぶ沿革を有している。平成 14 年に現在の陽光台に校舎が移転新築され、「木のまち廿日市」にふさわしい学校づくりをめざし、「自ら学ぶ 人と人がふれあう学校」として現在に至っている。教室棟は、木材を適所に活用した温もりと柔らかさのある木造建築である。多様なイベントの開催場となる平良っ子通り、学年ユニット空間としての教室配置、遊びの広場など、特色ある学校環境である。また、子どもたちのふれあいの場、交流の場であるとともに地域の多くの人々とも自然に交流することができる地域交流棟や廿日市市の児童館も校舎敷地内にある。

本校児童は、明るく伸び伸び育ち、純朴で優しく活動的である。祖父母との同居家庭も比較的多く、保護者・地域ともに学校教育に理解や関心が高く大変協力的で、PTA 活動も活発である。

平成14年 9月 平良小学校移転開校式典挙行

以前の所在地 廿日市市上平良 1 3 6 7－3

現在の所在地 廿日市市陽光台 1 丁目 4－1

平成14年 11月 平良っ子ふれあいフェスティバル地域公開（移転記念実行委員会協賛）

平成16年 1月 文部科学省学力向上フロンティアスクール研究指定校の研究公開Ⅰ

平成16年 12月 文部科学省学力向上フロンティアスクール研究指定校の研究公開Ⅱ

平成17年 3月 文部科学省スクールミーティング

平成17年 4月 廿日市市教育研究委嘱事業教科担任制（5・6年生対象）及び主幹制導入

平成17年 11月 広島県算数・数学教育研究大会小学校部会の会場校

平成18年 1月 MOA美術館全国児童作品展 文部科学大臣奨励賞 学校奨励賞受賞

平成18年 4月 文部科学省「人権教育総合地域事業」指定（平成18～20年度）

平成18～20年 文部科学省「人権教育総合地域事業」指定公開研究会実施

平成21年 8月 ミニミニフォーラム開催

平成22年 1月 平良小学校研究会（自主公開）の実施

平成22年 8月 ミニミニフォーラム開催

平成22年 10月 第19回広島県小学校生活科教育研究大会実施

平成23年 1月 平良小学校研究会（自主公開）の実施

平成23年 11月 平良小学校研究会・七尾中学校区合同授業研究会の実施

平成24年 11月 平良小学校研究会（自主公開の実施）

平成25年 1月 平良小学校区学校支援地域本部事業（平良っ子応援団）開始

平成25年11月平良小学校研究会（自主公開）の実施